

Amber of Chronos

薛 文潔

Xue Wenjie

2021-2024

写真 / インクジェットプリント

Photograph / Inkjet Print

このシリーズは、「時間」と「空間」の概念を視覚的に表現する試みです。

他の芸術表現と異なり、写真は一定の光を感光性の平面媒体に定着させ、静止的な画像として成立されます。媒体としての写真は琥珀のように、過去を定着させ、化石のような存在です。

一枚の写真を撮る際、その瞬間を捉えると言っても、時間がかかることは避けられません。時間の長さを伸ばし、カメラで周囲を撮ると、人間の目には見えない世界が現れ始めます。

8分20秒とは、日光が太陽から地球へ、私たちの目の前に広がる景色に届くまでのおよその時間の長さです。地球に住んでいる私たち人類は、基本的に太陽の光で生かされ、その光を通して周りを見ています。言い換えれば、私たちが現在見ている景色は、8分20秒前に太陽から放射された光を通してしているのです。

この8分20秒の長時間露光により、時間の流れが物事の流れに変容し、写真における「始まり」と「終わり」の概念も薄まり、一種の新しい視点が生まれました。

人間の目では捉えられない別次元の風景と太陽から地球までの遠い距離を、「時間」と「空間」の二つの要素を結びつけて静止画面にしました。具体的には、空間の距離（この場合は太陽から地球まで）を時間（写真が成立させた太陽の光が地球に届く時間）に変換し、その時間を再び写真で空間（被写体・被写環境）に戻して平面に記録しました。被写体の動き、静止との対比、存在と不在、始まりと終わり、時間に影響される全てが平等に記録されました。

撮影時の同期音声を聴くと、時間の長さを実感でき、スローシャッターで写真に写らなかった存在にも気付くようになりました。

世界を観察する方法の変化により、自然環境や人類社会、日常の生活から新たな発見や可能性が生まれています。